

鉤屋町 町内会だより

もりおか弁まち歩き 朝さんぽ

10月29日、盛岡まち並み塾の主催で「下町のお花さんと行くもりおか弁まち歩き朝さんぽ」が開催されました。



当日は朝6時集合、15分ほど前に行ったのですが、なんかもだ夜の雰囲気です。

不定期発行
発行者
鉤屋町町内会
編集/文責/撮影
桂 汎用工房
脇田 桂一郎
印刷
小松総合印刷
株式会社



案内役は「盛岡弁の昔話つこ」などでおなじみの花田陽子さん。大慈清水御休み処に集まった皆さんに、盛岡町屋の説明をした後、まち歩きに出発です。



大慈寺へ。花田さんが語る、原敬が亡くなった時と、その奥様の話は心に染み入ります。



青龍水と祇陀寺の龍にまつわるお話や、



木津屋の火事への備えを聞き、惣門、そして鉤屋町の通りに入ります。



大慈清水はやはり外せない場所です。管理や清掃のこともきちんと説明します。





十文字の三面地蔵を見た後、
下町からあき開きの工場の間
を抜け、神子田町に入ります。



日が高くなってきました。

終点である神子田朝市に到着。参加者はここで現地解散となり、皆さん朝市の思い思いの場所へと足を運びます。



この日の朝市は、土曜日にしてはちよつと人が少なめとのこと。朝方の雨のせいかも。

予定は1時間でしたが、これだけの距離と場所を解説しながら歩くと、ちよつと足りません。まだまだ行きたい・聞きたい場所もあるという、参加者の声もありました。

花田さん、お疲れ様でした。次回も期待しております。

彫刻シンポジウムと

音楽会

今年も、もりおか町家物語館風の広場で、第48回の盛岡彫刻シンポジウム野外展が行われました。

9月23日には、この彫刻の中で野外音楽会を開催する予定でしたが、当日は雨の心配があったため、浜藤ホールの中に変更となりました。



チェロ奏者の三浦 祥子さんと、ピアノ奏者の長谷川 恭一さんによる演奏が行われます。

長谷川さん作曲による、軽やかで、どこか不思議な感じの音楽が奏でられます。



演奏は2部に分かれており、その合間に彫刻を鑑賞したり、作家さんによる彫刻作品の解説なども行われていました。



今年最後の 北上川舟運

5月から始まった今年の北上川舟運も、10月8日が今年最後の運行となりました。

今回は今までどおり「もりおか港」～「新山河岸」の運行に加えて、明治橋たもとの新山河岸から明治橋上流を周遊して戻ってくる、という舟も出し、2隻体制での運行です。



すっかりおなじみになったボンネットバス。最近では旅行会社の企画で、レトロ盛岡巡りのツアーでも活躍中です。



三岳亭のおもてなしも、定着してきた感があります。



今年度は、月1回の運行を目指していたのですが、雨による増水などで、なかなか思うように行きませんでした。

来年も運行いたしますので、皆様よろしくお願いいたします。

雲つなもりおか

伊吹有喜さんの小説「雲を紡ぐ」をテーマとして鉾屋町の魅力を発信する「雲つなもりおか」が今年も開催されています。



大慈清水御休み処では、コンパクト体験や、様々な展示。



ワカプロの方々による「雲つなもりおかクイズふしぎ発見!」などを行っています。開催は11月29日まで。11月に入ってからイベントもあります。

盛岡のまちとつながり
楽しく歴史に触れよう!

雲つなもりおかクイズ ふしぎ発見!

Produced by
もりおかワカものプロジェクト

あなたも一緒にミステリーハント!
「雲を紡ぐ」に登場する場所を訪ねて答えを探しに行こう!

クイズ①
「雲を紡ぐ」に登場するホームズのショールームのモデルとなった場所がある町(大慈清水御休み処)の、1階の障子の本数は合計何枚?

クイズ②
「雲を紡ぐ」の舞台の一つである(大慈清水)で、運行を禁止されている乗り物は何か(歩は歩い乗り物)?

クイズ③
「ござ丸」の軒先に掲げられている、巨大サイズの丸い形をした博覧道具は何?

裏面の「雲つなもりおかプロジェクトマップ」を片手にまちを回り、「雲を紡ぐ」に登場するスポットに関するクイズの答えを発表し、全問正解を証明して、美しく安全な景観を、ます。
★全問正解した方のお名前を「雲つなもりおか」特設ウェブサイトで見られます。◎希望者のみ(ハンズオンでも可也)

制作者の紹介
・回答フォームに答えを入力します
・回答入力締め切り 2022/11/29

クイズの答え合わせ
・「雲つなもりおか」特設ウェブサイトで見られます。
・正解と全問正解者のお名前発表 2022/11/2

つるし雛を見に アメリカから

10月24日、町家サロンピツピに、つるし雛を見るためにアメリカから来る方がいる、とお聞きしたので伺ってみました。



場所は旧藤村家。この日のために並べられたつるし雛を、皆さん感心しながら見えています。アメリカ、カリフォルニア州から来た御三方。(中央黒い服は旅行会社の方) 手芸・クラフト系が好きな方々で、3人は教会でのお知り合いだそうです。



日系の方ですが、日本語はわかりません。通訳の方も同行していました。吉田 真里子さんは覚えている英語でどんどん説明していきます。

同じ趣味の者同士、見るもの、話すことが尽きないようでした。意外なところから、鉾屋町が国際化するのかもしれない。



浜藤の酒蔵 ブックマーケット 2022

「秋を楽しむ本と音楽」というテーマで、浜藤の酒蔵ブックマーケットが、10月16日、もりおか町家物語館で行われました。



今回もいろいろ発見してしまい、買うかどうか悩みます。お金よりも、置き場所のほうの問題だったりします。結局5冊購入、うち2冊がかなり大きな本で(でも安い)抱えるように持ち帰りました。

今回の絵本の読み聞かせは、秋らしく「どんぐり」の出でくるお話でした。これは「どんぐりと山ねこ」。



朝顔日記 2022 最終回

種を
収穫中です。

